

DX推進総務WG

《目標》

業務の作業工程を見える化・最適化しつつ、ルーティン業務を自動化するRPAを導入することで、新たな人的リソースを創出し、より付加価値の高い業務へシフトする。

[取組内容]

これまで職員が自ら作業していた業務について、RPA等の導入によって業務の効率化を図る。

- 昨年度までに試行中の事案は、実用化に向けた検証を行う。
- 新規に検討する事案は、自動化の可否を含めた検討を行う。

Before

これまで：手作業で行っていたこと

(例)

- ・ 職員が、帳票から手作業でシステムにデータ入力

(イメージ)



〔職員〕

After

これから：検証・検討を経て自動化を目指す

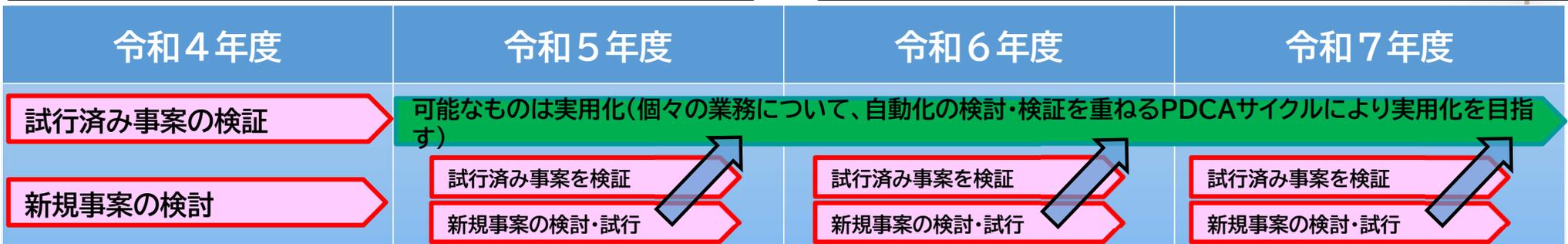
(例)

- ・ RPAにより作成したロボットが、帳票のデータ（紙資料はAI-OCRの活用で電子化を検討）から自動で既存システムにデータ入力

(イメージ)



〔ソフトウェアロボット〕



※今後の予定は現時点の想定であり、現場実証等の進捗状況により、変更等が生じる場合があります。

R3実施目標・実施状況

- ・昨年度すでに試行した事案については、実用化に向けた検証を行う。
→作成済みシナリオの実用化に向けた検証を実施。試行事案のシナリオを作成。
- ・今年度新たに設定する事案については、自動化の可否も含めた検討を行う。
→導入候補の業務フローの確認、作業ボリュームの精査

R3実施状況

実施項目	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
RPAの試行: 継続案件		業務フローの精査	自動化対象領域の検討・シナリオの作成	
RPAの試行: 新規案件	試行案件の抽出	業務フローの整理	実用化の可否を検討	
WG		WG内の調整 今年度試行事案の調整	第2回WG(12月) 検討状況の共有	第3回WG(3月) まとめ、次年度に向けた検討

※R4年度の取り組み方針(案)

- ・R3に開発したロボットを実務で利用し、検証(研修関係事務、物品管理関係事務)
- ・R3に棚卸し検討した業務のうち、自動化対象業務として抽出した事項についてロボット開発

R4実施目標

- ・作成済みシナリオを実用化に向けて検証する。
- ・今年度新たに設定する事案について、自動化の可否も含めて検討

R4実施計画

実施項目	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
RPAの試行: 継続案件	自動化領域の検討		シナリオ作成・実用化の検証	
RPAの試行: 新規案件	試行案件の抽出	業務フローの整理	実用化の可否を検討	
WG	○ 情報共有 候補業務の棚卸し	○ WG内の調整 今年度試行事案の調整	○ WG内の調整 今年度試行事案の調整	○ まとめ、次年度に向けた検討

※特記事項

- ・R3に開発したシナリオを実務において検証(研修関係事務、物品管理関係事務)
- ・R3に棚卸し検討した業務のうち、自動化対象業務として抽出した事項についてシナリオを作成
- ・現在の業務の棚卸し(課題の洗い出し)